

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回 所沢市保健医療計画推進委員会
開 催 日 時	令和7年8月13日（水） 18時30分から20時00分
開 催 場 所	保健センター2階 多目的ホール
出席者の氏名	※別紙 「所沢市保健医療計画推進委員会委員名簿」のとおり
欠席者の氏名	
説明員の職・氏名	様式第2号発言者のとおり
議 題	<p>(1) 令和7年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール（案）について</p> <p>(2) 第2次所沢市保健医療計画 令和6年度取組状況評価シート（案）（第1章～第5章）の確認について</p> <p>(3) 第3次所沢市保健医療計画 目次案・素案（総論第3章「計画の基本的な考え方」・各論第1章～第3章）の確認について</p> <p>(4) その他</p>
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・資料1 令和7年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール（案） ・資料2-1 第2次所沢市保健医療計画 令和6年度取組状況評価シート【第1章～第5章】（案） ・資料2-1（別紙）令和6年度からの新たな取組実績について ・資料2-2 令和6年度取組状況評価シート【第1章～第5章】（案） 説明要旨 ・資料3-1 第3次所沢市保健医療計画 目次案 ・資料3-2 第3次所沢市保健医療計画 素案（総論第3章「計画の基本的な考え方」） ・資料3-3 第3次所沢市保健医療計画 素案（各論第1章～第3章） ・資料3-4 第3次所沢市保健医療計画（総論第3章・各論第1章～第3章）補足説明 ・資料4-1 意見シート（令和6年度取組状況評価シート） ・資料4-2 意見シート（第3次所沢市保健医療計画）

担 当 部 課 名	健康推進部	部 長	小山 貴之
		次 長	田中 浩文
		保健センター長	糟谷 苗美
		保健医療課長	中山 倫宏
		保健医療課副主幹	佐藤 征逸
		保健医療課副主幹 (保健所準備室長)	森 真太郎
		保健医療課主査	八川 麻紗子
		保健医療課主査	古屋 由佳子
		保健医療課主任	日野 航介
		健康管理課長	一色 義直
		健康管理課主幹 (こころの健康支援室長)	小野寺 健
		健康管理課主幹	千葉 喜文
		健康づくり支援課長	岩雲 美香
		健康づくり支援課主幹	近藤 真弓
		こども未来部	
		こども家庭センター担当参事	松井 優子
		こども家庭センター主幹	美甘 有利恵
	事務局 健康推進部保健医療課 電話：04(2998)9385		

※別紙 所沢市保健医療計画推進委員会 委員名簿

No.	所属	氏名	出欠	備考
1	公募委員	二瓶 広和	○	
2	公募委員	碓谷 栄治	○	
3	公募委員	小野 向日葵	○	
4	公募委員	丸山 香	○	
5	所沢市医師会 会長	赤津 拓彦	○	※委員長
6	所沢市歯科医師会 副会長	北田 徳克	○	
7	所沢市薬剤師会 副会長	塚本 京子	○	
8	所沢市柔道整復師会 会長	吉田 南成	○	
9	所沢市鍼灸師会 会長	原澤 清一	○	
10	所沢市母子愛育会 会長	大里 節子	○	
11	所沢市食生活改善推進員協議会 会長	丸山 静香	欠	
12	所沢市スポーツ推進委員会 副会長	須藤 貢	欠	
13	所沢市社会福祉協議会 事務局長	黛 浩一郎	○	
14	所沢市介護保険サービス事業者 連絡協議会 会長	米川 智裕	○	
15	早稲田大学 人間科学学術院長・人間科学部長	扇原 淳	○	※副委員長
16	知識経験者	瀬能 幸則	○	
17	狭山保健所 副所長	小口 千春	○	
18	埼玉西部消防局 消防署統括監兼所沢中央消防署長	日高 賢	○	
19	市民医療センター長	黒木 康富	○	

(敬称略)

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（中山）	（開会）
赤津委員長	（挨拶）
事務局（中山）	<p>（委嘱状交付）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人事異動による委員の変更（埼玉西部消防局・日高消防署統括監兼所沢中央消防署長） ・ 任期は所沢市保健医療計画推進委員会条例（以下、条例）第4条の規定により、前任者の在任期間（～令和10年6月30日） <p>今回から新たに委員となった日高委員より自己紹介をお願いしたい。</p>
日高委員	（自己紹介）
事務局（中山）	<p>本日の委員会は都合により2名の委員が欠席である。現時点での出席者が17名で過半数を超えているため、条例の規定により委員会が成立していることを報告する。</p> <p>（事前配布資料・差替の当日配布資料の確認）</p> <p>（会議内容の説明）</p> <p>次第に沿って、以下のとおり進行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議題（1）令和7年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール（案）について ・ 議題（2）第2次所沢市保健医療計画 令和6年度取組状況評価シート（案）（第1章～第5章）の確認について ・ 議題（3）第3次所沢市保健医療計画 目次案・素案（総論第3章「計画の基本的な考え方」・各論第1章～第3章）の確認について <p>（議事前の手続）</p> <p>前回と同様、以下の取扱とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会は「公開」 ・ 会議録は「要約方式」、発言者は「委員名を記載」 ・ 会議録は委員長の承認を持って確定

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（中山）	本日の会議の進行については、条例第6条第1項の規程により、委員長が議長となるので、赤津委員長にお願いしたい。
赤津委員長	<p>それでは議長を務めさせていただく。まず傍聴者の確認をお願いしたい。</p> <p>（傍聴者なし）</p> <p>（議事）</p> <p>議題（1）令和7年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール（案）について、事務局より説明をお願いしたい。</p>
事務局（佐藤）	（資料1 令和7年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール（案）にて説明）
赤津委員長	スケジュール案について説明があった。質問・意見があればお願いしたい。例年よりもタイトな動きがあるため、ご協力をよろしくお願いしたい。
委員一同	（意見なし）
赤津委員長	次に、議題（2）第2次所沢市保健医療計画 令和6年度取組状況評価シート（案）（第1章～第5章）の確認について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局（古屋）	（資料2-1 第2次所沢市保健医療計画 令和6年度取組状況評価シート【第1章～第5章】（案）、資料2-1別紙 令和6年度からの新たな取組実績について、資料2-2 令和6年度取組状況評価シート【第1章～第5章】（案）説明要旨にて説明）
赤津委員長	<p>議題（2）についてご意見があれば伺いたい。資料2-1の2枚目の評価方法のところに、新たな取り組み等については下線を引いてあると書いてあるので、下線が引いてある箇所は努力をされて、新たなことを始めているという目でご覧いただきたい。</p> <p>この中を見て、それぞれの方からご意見があるかと思うが、いくつか気になった箇所がある。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
碓谷委員	<p>（資料２－１ p.10 朝食を意識したバランスのよい食生活の普及について） 朝食を週３回抜く人の割合が、年々増えてきているのがとても気になった。</p> <p>（資料２－１ p.11 地産地消について） 食育・地産地消はこの地域の一つの目的だと思うが、地産地消を実施しているモデル校がどこなのか。実際に地産地消を実施した場合、費用対効果がどの程度なのか。ぜひ郷土のものを取り入れていただくことを続けていただきたいと思う。</p> <p>（資料２－１ p.22 所沢こころの美術展について） 実績を見ると、こころの美術展にかなり多くの人々が来場していることが分かり、それが評価の対象になっているということだが、これが適切な評価かどうか気になった。たまたまその美術展に行った人が多いか少ないかというので、活動の評価がなされていると感じた。</p> <p>（資料２－１ p.23 自殺死亡率について） 目標が人口１０万人あたりの死亡率１１．８人であり、実際に所沢市の人口が約３０万人だとしたら、この約３倍にあたる５０人近くの人々が年間自殺で亡くなっており、１０日に１人ぐらいが自殺しているという計算になるため、この数値の表現は大切だと思った。 また、「『自殺対策支援センター ライフリンク』との連携協定を締結し、電話やSNSを活用した２４時間対応できる相談と、市の相談窓口につなぐ情報提供体制の整備を図った」ということで、画期的な取組を実施していると思うが、実績がどのくらいなのかを知りたいと思った。</p> <p>（資料２－１ p.31 地域医療の充実について） 目標指標「所沢准看護学院・所沢看護専門学校卒業生（合格者）の市内就職率」の実績について、令和２年から令和５年まで緩やかに上昇しつつほぼ横ばいだが、令和６年度では一気に下がっているため、この理由を知りたい。</p> <p>（資料２－１ p.40 災害時医療について） 令和６年度の主な取組実績について、薬局との協定がどのようなものか伺いたい。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（古屋）	<p>（資料2-1 p.26 難病患者等の悩みや不安の解消について）</p> <p>難病患者等の悩みや不安の解消を図るというのがあり、具体的には「脊髄小脳変性症者の集い」を4回実施したと記載がある。</p> <p>是非とも、難病患者等の悩みを支えるという意味で、こういう治療があるんだということ発信していただきたい。</p> <p>1点目のご質問にお答えする。目標指標「所沢准看護学院・所沢看護専門学校卒業生（合格者）の市内就職率」の実績について、市外への就職者が増えているため、パーセンテージが下がっている。</p> <p>具体的には、令和5年度は合格者62名のうち33名が市内に就職した。また、令和6年度は合格者が少し増えて66名だったが、市内への就職が31名であった。</p> <p>県外就職者について、令和5年度は19名だったが、令和6年度は27名であり、多くが東京都であると思われる。</p>
赤津委員長	<p>東京都では、東京都内在住の方が所沢市の准看護学院に入学し、東京都内の医療機関に就職した場合、返還不要の給付型奨学金制度がある。</p> <p>また、准看護学院も看護専門学校も希望する人がいなくなっている。令和3年度から令和6年度の埼玉の看護大学の受験者数を見ると、たった4年で6割まで減っている。</p> <p>つまり、医療業界というのは診療報酬のキャップが掛かっているため、就職しても残念ながら自分の将来はないという若い世代が感じ取っているのではないか。</p> <p>また、競争率のないところで合格者が出ているので、人材の質が下がってしまう懸念もある。准看護学院や看護専門学校に入る人たちは、一度社会に出た後に看護師になりたいという願いの下に入る人が多いので、モチベーションは高いが、経済的に恵まれていない場合、東京都のような制度があると、学校は所沢市でも就職先は東京都ということになる。</p> <p>また、准看護学院から看護学校に進学する場合も、東京都では全生園という施設があり、ここの学費がとても安いので、看護学校は所沢市ではなく、東京都に行ってしまうケースもある。</p> <p>こうした状況に対して、所沢市医師会は一人当たり3万円の給付型奨学金を5～6年前から実施しているが、それでも人材は東京に向いているのが現状である。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（古屋）	<p>2点目のご質問にお答えする。協定の内容だが、市から必要な薬品等の物品の提供を要請できるというものである。</p>
赤津委員長	<p>災害時の協定について、どのくらい実行性があるものなのかが気になるところである。</p> <p>私の病院では、所沢市内で計画停電になった時に、非常用電源の軽油を調達できるか県に連絡をしたところ、協定を結んでいるガソリンスタンドが融通してくれるかもしれないとのことだったが、実際には買えなかったことがある。</p> <p>どちらかという、地元の業者と日頃から顔の見える関係性を築いた方が良いと思う。実際に軽油を提供してくれたのもそうした関係性のある業者だった。</p> <p>病院の軽油は、中小規模の病院でも、非常用電源を1日回すとドラム缶1本分がなくなってしまう。大規模な病院ではその何倍も必要になると思う。</p> <p>非常用電源は全ての電源に使うわけではなく、命を維持するための限られた電源にしかつながないため、実際のアクションになると大変なことが待っていると思う。</p> <p>全体の量が多いため、改めて資料を確認いただき、ご質問、お気付きのことがあれば意見シートでもらいたいということなのでよろしくお願ひしたい。</p> <p>次に、議題（3）第3次所沢市保健医療計画 目次案・素案（総論第3章「計画の基本的な考え方」・各論第1章～第3章）の確認について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局（日野）	<p>（資料3-1 第3次所沢市保健医療計画 目次案、資料3-2 第3次所沢市保健医療計画 素案（総論第3章「計画の基本的な考え方」）、資料3-3 第3次所沢市保健医療計画 素案（各論第1章～第3章）、資料3-4 第3次所沢市保健医療計画（総論第3章・各論第1章～第3章）補足説明にて説明）</p>
赤津委員長	<p>だいぶスッキリした印象があるが、視覚的な工夫があるといいと思う。また、本文にインセンティブが書かれていると、市民のやる気が起きるのではないかと思った。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
原澤委員	<p>（資料3-3 p.2 保健・医療関係団体等の主な取組について）</p> <p>鍼灸師会の取り組みとして、「介護ボランティア」は新型コロナウイルス感染症拡大時に中止して以来、再開できていないので削除していただきたい。</p> <p>現在は「ツボを使ったセルフケア講習」や「スポーツ大会での参加者のコンディショニング」を実施しているので、そちらの記載に変更していただきたい。</p> <p>また、本文の各所に「アンケートでは、」という記載があるが、これがいつ行なったどういうアンケートなのかの補足を入れた方がいいと思う。</p>
事務局（日野）	<p>ご指摘を踏まえ、適切な内容に修正する。アンケートについても何らかの形で内容を記載したい。</p>
黛委員	<p>（資料3-2 p.4 『生きる』を支える支援について）</p> <p>自殺対策の言い換えで「『生きる』を支える支援」という書きぶりだが、「支える支援」とは何か。表現が気になる場所である。</p>
事務局（日野）	<p>現在、自殺対策については、令和7年度まで「『生きる』を支える所沢市行動計画」という個別計画を進めている。第3次保健医療計画からは自殺対策計画も包含するため、現在の個別計画との整合を図るという意味での表現かと思う。改めて関係課と協議の上検討したい。</p>
大里委員	<p>（資料3-3 p.2 課題について）</p> <p>課題の中で「誰もが気楽に身体活動ができる環境整備が必要」とあるが、私が通うまちづくりセンターの体育館には冷暖房がなく、冬はマフラーと手袋をし、夏は熱中症アラートが出ると中止になることがしばしば。高齢者が健康でいきいきと生活するために必要な運動ができるような環境を整えていただきたい。</p>
事務局（日野）	<p>課題に記載のとおり、昨年度実施したアンケートでも、例えば安全に歩ける道路環境を整備してほしい等、環境整備に関する意見があったのは事実である。ただ、予算の関係もあり、今は方針・課題を示している段階なので、具体的に何ができるかはお答えできないが、委員の皆様からいただいたご意見を共有させていただき、第3次計画にどこまで反映できるか検討したい。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
二瓶委員	資料3-3について、フォントの文字が読みにくいと感じた。
小野委員	コラムを現時点で入れるかは分からないとのことだが、私は豆知識みたいなコラムがあると積極的に見てみようと思う方なので、これは良い案だと思う。
丸山委員	目次の章立ての中で、第2章第3節にがんという項目が入ったのはどのような意図からなのか。
事務局（日野）	<p>がんを節に特出しした理由は、埼玉県地域保健医療計画の中で、がん対策基本法に基づく埼玉県のがん対策推進計画が整備されており、そこの整合を踏まえて入れたものである。</p> <p>がんについては、単に予防だけではなく、例えば医療の観点における緩和ケアや、保健医療課でも取り組んでいるがん患者に対するアピアランスケア用品購入費助成事業など、様々な視点が含まれることから重要視しており、節として特出しをしている。</p>
北田委員	<p>各論第1章の素案について、歯科に関することを入れていただき感謝したい。我々歯科医師会でも乳幼児から高齢者まで幅広く市民の口の健康を守るために様々な活動をしている。</p> <p>今年度からは節目の成人歯科検診を今まで40代、50代、60代、70代だったものを、対象を20代、30代にも拡大したところ、検診受診率が僅かながら向上した。若い世代が歯・口腔の健康に関心を持っていただくことは、とても大切なことだと思う。</p> <p>また、歯科医師会では歯科診療所あおぞらにて、在宅要介護高齢者の診療当番をしているが、要介護になって歯の状態が悪くなると、患者さんの容体も悪くなる。歯の治療は期間が掛かるため、要介護になる前から歯・口腔の健康に関心を持っていただき、全ての歯の治療をできるだけ終わらせることがいかに大切かということを実感している。</p> <p>市民には歯・口腔の健康にももっと関心を持っていただけるような施策について、歯科医師会としてできることは協力していきたいと思う。</p>
赤津委員長	医科においても、摂食嚥下が極めて重要となっている。もっと若いうちから歯・口腔の健康に取り組むことが大事とのメッセージと理解した。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
塚本委員	<p>保健医療関係団体等の主な取組など、詳細は後ほど出させていただきます。</p> <p>（認知症予防について）</p> <p>今後、第3次保健医療計画でどのように記載がされるのか。これから先、認知症の方が増えていくのではないかと考えている。生活習慣病とはお異なるが、少しでも本計画で触れてもらえると良い。</p> <p>（災害時の協定について）</p> <p>薬剤師会も災害時に提携をしている。同時に大手チェーン店との薬品の供給に関しても協定を結んでいるが、市販薬のオーバードーズの問題が非常に問題になっているので、そういった部分も触れてもらえると良いと思う。</p>
事務局（日野）	<p>認知症予防については、これまでのように小項目での整理及び目標指標の設定は行なわない方向で考えている。</p> <p>認知症施策は福祉部が所管しており、「第9期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」にて詳細に項目立ての上整理されている。</p> <p>現在の第2次所沢市保健医療計画では「認知症サポーター養成受講者数」を目標指標としているが、同指標について、数字を最新のものに更新した上で、高齢者福祉・介護の計画にて進捗管理が行なわれており、スリム化の観点から、第3次保健医療計画では外すことを考えている。</p> <p>しかしながら、現在施行されている認知症基本法においても、基本理念の1つとして「認知症の人の意向を十分に尊重しつつ、良質かつ適切な保健医療サービス及び福祉サービスが切れ目なく提供される。」と示されていることから、保健医療分野と全く無関係ではない。</p> <p>このため、関係課と協議をしているが、今後、各論の第4章、第5章を作成していく中で、市の取り組みとして何らかの形で認知症に関する内容を盛り込めればと考えている。</p>
吉田委員	<p>（資料3-3 p.2 スポーツ大会への救護役員派遣について）</p> <p>我々柔道整復師会は、体力測定、バレーボール、柔道大会、シティマラソンなどに救護で参加している。</p> <p>シティマラソンは様々な人が参加をしてくれるのだが、怪我をした参加者からは「坂道が多くてトライアスロンみたいなコースだ」とよく言われる。</p> <p>昨今では川越市のマラソンが非常に人気となってきており、所沢市で</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長	<p>救護に携わっている身としては少し残念だと思っている。</p> <p>昨年度は最後に大変な状態の人が救護に来ており、あのコースを年配者が走るとそれだけのリスクがあると感じたので、コースを変えるなど、何か案があればお聞きしたいと思った。</p> <p>大会を楽しみにしている市民もたくさんいるので、難しいところだと思うが、事務局は今のようなご意見がある点、お含み置きいただきたい。</p>
原澤委員	<p>来年度、全国健康福祉祭（ねんりんピック）というイベントがあると思う。所沢市では健康まつりが終了となり、市民がイベントを通じて健康に触れる機会がないため、できれば来年のねんりんピックに合わせた従来の健康まつりのようなイベントを開催していただきたい。</p>
黒木委員	<p>（資料３－３ 予防接種について）</p> <p>本計画は「健康長寿のまち」を掲げているため、成人を対象にされている印象を持った。小児の観点で見ると、予防接種が該当すると思う。第１節の予防接種では「知識の普及」と「接種率の向上」を掲げているが、基本的には様々な形で実行されていると思う。</p> <p>しかしながら、個別の対応において、我々がこどもの予防接種をしていると、親が全く理解できていないと感じる場面がある。転居してくると、自治体ごとで接種のタイミングが違うが、それを相談できる場所がない。転居してきた子育て世帯に対して、予防接種の相談窓口をしっかりと整えることが、接種率の向上につながるのではないかと思う。</p> <p>また、健康な子どもばかりではないので、予防接種をすべき時期をずらした際のイレギュラーなタイミングでの接種に関する個別相談にも配慮することで、知識の普及や接種率の向上にもつながるのではないかと思う。</p>
日高委員	<p>第２次計画と比較し、今回の第３次計画の素案は凄く見やすくなっていると思う。</p> <p>一方で、インターネットやSNSの活用が普及しており、自分が興味のある箇所しか見ない方もいるので、ホームページ上で資料編のようなものをリンクで飛ばすような形にすると良いと思う。</p>
小口委員	<p>前回の第２次計画と比べてとても見やすくなっていると思う。また、市民へのメッセージがとても良いと思った。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
瀬能委員	<p>（こころの健康・自殺対策について）</p> <p>「『生きる』を支える支援」ということで、現在の行動計画と表現を合わせたとのことだが、とても良い表現だと思った。</p> <p>保健所では自傷・他傷の方と接する機会があり、最近では割と高齢の方も多く、認知症なのか、それとも精神的な問題なのかが分からない人が増えている印象があり、一人暮らしの方も多い。</p> <p>ライフステージの中でも、小さい時に様々な経験をした人は、思春期に辛さを抱えながら成長していき、その方が大人になって子どもを持った時に大変な思いをされることもある。その方がさらに高齢になった時に備え、ライフステージの切れ目のない支援を考えていただいていると思う。</p> <p>（予防接種について）</p> <p>今年は麻疹が流行しており、2回予防接種をするとほぼ感染しないと言われているが、たまに感染している方がいる。いざという時に、接種をしているかしていないかで、周りに大きな影響を与えることがある。ぜひ予防接種のことは皆さんが受けられる体制が整うといいなと思う。</p> <p>（難病について）</p> <p>難病を抱え、日々の生活に困っている方がいる。保健所も難病の医療費支援の申請を受けられる立場だが、所沢市は他市ではない新規の難病患者の医療費の申請を受付しており、市民の方が難病医療制度の情報にアクセスする機会が多いのではないかなと思う。</p> <p>多くの病気があるので、保健所でもタイムリーな情報を伝えることはできていないが、難病情報センターを始め、情報はオープンになっているので、我々としてやれることを検討したいと思う。</p> <p>一通り見せていただいて、非常に内容として分かりやすくなったと感じた。こういう計画なので、市が行なっていることのアピールをもっと書いてもいいのではないかなと思う。</p> <p>特に高齢者福祉・介護の計画などと比べてポイントとなるのは数字だと思う。実績としてどうなのか、誇れるような数字を書いてもいいと思う。予防接種もこれだけ取り組んでいると書いてもいいと思う。</p> <p>また、他の計画でも、実際にこのような建物ができるとことを示すのは非常にインパクトが大きい。そうすると、市としては医療センターの建て替えや保健所の設置が関係すると思う。</p> <p>実施する方向で動いているので、どこまで本計画に反映できるかは分</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
米川委員	<p>からないが、「この建物ができるとこんなことができる」というのを書くと、市民も興味を示すのではないかと思う。ただ読んで、こんな良いことをしているんだな、で終わるのではなく、もう少しインパクトのあるものを書いても良いと思う。</p> <p>資料3-3について、素案の段階だがとても見やすくなったと思う。 （保健・医療関係団体の主な取組について）</p> <p>市が取り組んでいることに対して、様々な団体が協力してくれていることがわかり、市民から見ると一体感があり、安心感が伝わるのではないかと思った。</p> <p>（文言の表現について）</p> <p>自殺対策を「『生きる』を支える支援」と変えた点について、身近で前向きな言葉で書かれており、とても良いと思った。</p> <p>一方で、「期待される市民自らの取組」については、柔らかい言葉やもっと身近な言葉にしてもいいのではないかと思う。市民の方も見ることを考えると、もう少し分かりやすい、親近感のあるような言葉に変えても良いのではと思った。</p>
赤津委員長	<p>皆様からいただいたご意見を参考にさせていただき、まとめていただきたいと思う。</p> <p>議題（4）その他について、事務局からお願いしたい。</p>
事務局（森）	（保健所設置に関する進捗を報告）
事務局（佐藤）	（今後の会議録作成の流れについて説明）
赤津委員長	<p>以上で本日の議事は終了となるが、最後に扇原副委員長に一言いただきたい。</p>
扇原副委員長	<p>本日も慎重な審議をいただき感謝申し上げたい。</p> <p>第3次の保健医療計画の素案の中で様々な意見が出たが、本当に見やすくなったと感じている。その中でも、保健医療関係団体の主な取組ということで、関係団体がこれだけあるとわかり、心強く思った。</p> <p>市民自らの取組というところ来说うと、健康や生きるを支えるという意味では、むしろ全ての団体・機関が関係すると考えた場合に、各団体や機関の立場として、この計画にどんな貢献・支援ができるのかという</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（中山）	<p>問い掛けをしてもいいのではないかと思った。</p> <p>その時に期待される市民自らの取組は、もっと実現可能性や、自助・共助・公助のうちの自助でも考えることができるかなと思った。</p> <p>そうなった時に、市民自らの取組ということと言うと、「しましよう」というのは誰から目線なのかと少し思ったので、例えば「します」といった、主体的になるような文言でも良いのではと感じた。</p> <p>これ以降も会議は続くが、慎重な審議を引き続きお願いしたい。</p> <p>以上で令和7年度第2回所沢市保健医療計画推進委員会を閉会する。</p> <p>（閉会）</p>